



カワラヒワ

広報えひな

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31-2111

精神薄弱者
更生施設

星谷学園が4月に開所



完成した「星谷学園」(写真上)、
学園内では木工をはじめ陶芸など
の作業が行われます(写真右・3
月3日撮影)

精神薄弱者更生施設

星谷学園の概要

精神薄弱者更生施設「星谷学園」の建設概要は次のとおりです。

- ▷建設場所 杉久保2,278-1
- ▷敷地面積 3,286.19m²
- ▷建物概要 鋼筋コンクリート造・地上3階建て
- ▷建築面積 1,342.30m²
- ▷延べ床面積 2,665.40m²
- ▷施設定員 入所者40人、通所者20人、緊急一時入所者4人

▷各階の主な施設 ▶1階 2人用洋室6部屋・4人用室2部屋(入所者専用)、陶芸室、木工室、洗濯室、指導室、事務室、ロビー ▶2階 2人用洋室10部屋(入所者専用)、医務静養室、食堂、作業室 ▶3階 ボランティア作業室、ゲストルーム、図書コーナー

*1、2階にはそれぞれ緊急一時入所専用室、指導員室、浴室があります。



精神薄弱者更生施設「星谷学園」の運営は、平成四年九月に設立された社会福祉法人「星谷会」が行います。現在市内には、「わかば作業所」「わかば第二作業所」「あきば作業所」などの心身障害者地域作業所と、指導員とともにアパートに住み、日常的生活訓練

個人の能力に適した対応

を行う「生活ホームみすき寮」

がありますが、市では四月一日から、これらの施設の運営を星谷会に委託する予定です。今後は、星谷会が市内の訓練施設と、地域作業所を一括して運営することになり、このことで精神薄弱の方が必要とする訓練や指導などが、今まで以上に個人の能力に合わせて行うことができるようになります。

また、精神薄弱の方が施設や作業所を移つても、各施設の方にとっても、進路選択の幅が広がります。

問い合わせ

市福祉課 (内線・45)
精神薄弱者更生施設「星谷学園」
精神薄弱者更生施設「星谷会」

市内で初めての精神薄弱者更生施設「星谷(よしや)学園」が四月一日に開所します。この星谷学園は、社会福祉法人「星谷会(大貫照理事長)」が国・県・市の助成を受けて、平成4年度から建設を進めていたものです。今後、同様では、精神薄弱の方の社会的自立を目的として、生活指導や作業訓練などが行われます。

障害者の自立を推進

地域交流スペースも設置

四月一日に開所する精神薄弱者更生施設「星谷学園」は、海老名駅から相鉄バスで農大前下車徒歩二十分、有馬のハルニレ(通称なんじやもんじや)の約二百五十㍍以北側に位置しています。

同施設は、心身にハンディキャップがある原則として十八歳以上の精神薄弱の方たちが、社会参加や自立を目指して各種訓練を行う施設ですが、入所設

備が整った施設は、市内では同施設が初めてです。施設内には、心身障害者の方であるほか、心身障害者の方の家族や介護者が、何らかの理由で一時的に介護ができない場合の緊急一時入所用の部屋(2人用洋室2部屋)もあります。

施設内には、心身障害者の方が地域社会の一員となり、積極的に社会参加ができるようになります。

施設内には、心身障害者の方が地域社会の一員となり、積極的に社会参加ができるようになります。県内でも初めての「地域交流スペース」設けました。具体的に、ボランティアを募るなど、三階のボランティア作業室を地域の方たちの集会などに開放するほか、一階の交流プラザ(屋根付きの中庭)でアマチュア野球などの催し物などを開催するほか、一階の交

通路や通路のスペースを広くし、通所の方には、車いすのリフト付き送迎マイクロバスが市内を循環します。



